



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,309	—	342	—	342	—	218	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 187百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	40.17	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,396	3,565	66.1
27年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,565百万円 27年3月期 1百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	—	450	—	460	—	300	—	55.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) NIC Autotec(Thailand) Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,500,000 株	27年3月期	5,500,000 株
28年3月期3Q	51,241 株	27年3月期	51,196 株
28年3月期3Q	5,448,765 株	27年3月期3Q	5,448,813 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国が相対的には堅調に推移し、欧州についても回復基調が見られたものの、平成27年12月以降、新興国市場の不透明感や金融、資源市場の変動、地政学的リスクを背景に、下方リスクが強まるなど、回復の動きは地域によって差異が生じております。

わが国経済におきましては、新興国経済の減速によって生産や輸出に影響が見られるものの、緩やかな回復が続いており、雇用・所得環境の回復基調を背景に、消費や設備投資を中心とした内需の増加が期待されております。しかし、こうした状況は今後の為替相場や原油価格の動向次第で大きく変動する可能性があり、不透明感を払拭できない状況となっております。

このような状況のもと当社グループは、引き続きF A装置（F A : Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等を使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の大口案件、また海外での生産強化を図る自動車業界向けのF A装置やフラットパネルディスプレイ（以下、「F P D」という。）業界向けの大型カスタムクリーンブース等について、当社の技術力を活かした提案型営業活動を展開し、受注を確保してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,309百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は342百万円、経常利益は342百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は218百万円となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

また、平成27年1月に設立いたしました海外連結子会社（NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.）につきましては、機械設備等の稼働準備も整い、平成27年12月から本格的な受注活動を開始しております。

さらに、当期より新たな取り組みとして、人型の双腕ロボットを活用したシステムインテグレーションを計画しております。今後、日本の労働力人口は高齢化が進み、労働力の減少が予測されることより、これら最先端ロボットの導入が増加傾向となることが見込まれます。このような時代の流れを読み、単に無人化を目指した生産システムでは無く、人とロボットと一緒に働く近未来的な生産現場の環境づくりとして、制御プログラムの構築やロボットの作業環境として必要な周辺機器・治具、およびこれらの目的に沿った新しいF A装置やアルファフレームシステムを活用したユニット化の開発も視野に入れ、新たな展開を目指しております。

当社グループとしては、当面、業容の拡大を図るとともに、これら新規事業の実現に向けて、技術者の雇用拡充及び新規社内設備の増強を行うなど、積極的な投資を推進してまいります。

セグメント別の業績を示しますと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャTM」及び「マーキングシステムTM」を活用し、「アルファフレームシステム」の付加価値を高めることで競合他社製品との差別化を図り、加えて提案重視の営業を継続的に展開いたしました。

一般の材料・部品としての販売は、期初より安定的な売上高を確保しております。また、継続的に引き合いを受けているF A装置等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件についても順調に受注を確保いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,994百万円となりました。

なお、F A装置業界向け「アルファフレームシステム」大口案件の受注は引続き好調であり、期末に向けての需要も活発なことから、通期の受注、売上は順調に推移するものと見込んでおります。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社グループの技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進しております。自動車部品製造企業に対する洗浄、検査、試験等の各装置に関しましては、顧客ごとに異なる設備の導入タイミングをうまく受注に繋げたことによって堅調に推移いたしました。また、F P D業界向けクリーンブース案件も当初予想を上回る引き合いを確実に受注に繋げており、第4四半期も順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は1,591百万円となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係及び一般機械設備関係の売上高は前期並みに推移しておりますが、機械部品製造関連企業の大型機械設備投資は前年をピークとして峠を越えたために、当第3四半期連結累計期間は大型の設備投資案件数が減少し、売上高は伸び悩む状況となりました。しかしながら、当第3四半期後半から機械設備関係の引き合い、さらに受注は増加傾向にあり、これらの確保に向け一層の注力をしてまいります。

この結果、当部門の売上高は722百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、5,396百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が401百万円、受取手形及び売掛金が1,537百万円、電子記録債権が497百万円、たな卸資産が808百万円、有形固定資産が1,446百万円、投資その他の資産が642百万円であります。

負債は、1,831百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が760百万円、電子記録債務が597百万円、退職給付に係る負債が172百万円であります。

純資産は、3,565百万円となりました。主な内訳は利益剰余金3,211百万円であります。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、401百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、346百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、税金等調整前四半期純利益342百万円の計上、売上債権の減少による資金の増加額408百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少額215百万円、未払消費税等の減少による資金の減少額82百万円、法人税等の支払いによる資金の減少額160百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、102百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が78百万円、保険積立金の積立による支出が17百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、108百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出が108百万円あったことなどが主な要因であります。

なお、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、現時点において、平成27年8月3日付の「平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、今後の経営環境により、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間から、NIC Autotec(Thailand) Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	401,329
受取手形及び売掛金	1,537,016
電子記録債権	497,019
商品及び製品	157,061
仕掛品	311,008
原材料及び貯蔵品	340,693
その他	42,968
貸倒引当金	△239
流動資産合計	3,286,858
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,782,076
減価償却累計額	△1,038,583
建物（純額）	743,492
土地	456,904
その他	765,860
減価償却累計額	△519,472
その他（純額）	246,388
有形固定資産合計	1,446,785
無形固定資産	
その他	20,464
無形固定資産合計	20,464
投資その他の資産	
その他	644,331
貸倒引当金	△1,731
投資その他の資産合計	642,600
固定資産合計	2,109,850
資産合計	5,396,708

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	760,244
電子記録債務	597,799
未払法人税等	46,452
賞与引当金	29,132
製品保証引当金	3,639
その他	156,047
流動負債合計	1,593,314
固定負債	
退職給付に係る負債	172,101
その他	65,600
固定負債合計	237,702
負債合計	1,831,016
純資産の部	
株主資本	
資本金	156,100
資本剰余金	146,100
利益剰余金	3,211,195
自己株式	△34,467
株主資本合計	3,478,927
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	89,485
為替換算調整勘定	△2,828
その他の包括利益累計額合計	86,656
非支配株主持分	107
純資産合計	3,565,692
負債純資産合計	5,396,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,309,194
売上原価	3,250,262
売上総利益	1,058,931
販売費及び一般管理費	716,551
営業利益	342,379
営業外収益	
仕入割引	3,166
その他	1,557
営業外収益合計	4,724
営業外費用	
為替差損	3,774
手形売却損	422
電子記録債権売却損	434
その他	33
営業外費用合計	4,664
経常利益	342,439
税金等調整前四半期純利益	342,439
法人税、住民税及び事業税	116,176
法人税等調整額	7,583
法人税等合計	123,759
四半期純利益	218,680
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△228
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,908

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
四半期純利益	218,680
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△28,161
為替換算調整勘定	△2,873
その他の包括利益合計	△31,034
四半期包括利益	187,645
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	187,902
非支配株主に係る四半期包括利益	△257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	342,439
減価償却費	78,089
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,267
製品保証引当金の増減額(△は減少)	823
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,536
受取利息及び受取配当金	△391
支払利息及び手形売却損	856
売上債権の増減額(△は増加)	408,243
たな卸資産の増減額(△は増加)	△215,366
仕入債務の増減額(△は減少)	14,402
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82,349
為替差損益(△は益)	3,301
その他	△23,909
小計	507,357
利息及び配当金の受取額	207
利息の支払額	△856
法人税等の支払額	△160,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	346,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△78,006
無形固定資産の取得による支出	△3,870
投資有価証券の取得による支出	△3,600
保険積立金の積立による支出	△17,263
その他	726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△28
配当金の支払額	△108,568
非支配株主からの払込みによる収入	373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,765
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,240
現金及び現金同等物の期首残高	262,243
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,329

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,008,045	—
装置部門	1,591,836	—
合計	3,599,882	—

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
商事部門	工業用砥石	114,764	—
	機械設備	242,143	—
	工具・ツール・油脂類	267,230	—
合計		624,138	—

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,055,040	—	192,925	—
装置部門	1,347,427	—	493,380	—
商事部門	667,048	—	144,245	—
合計	4,069,516	—	830,550	—

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,994,604	—
装置部門	1,591,836	—
商事部門	722,753	—
合計	4,309,194	—

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第3四半期連結累計期間		
	販売高 (千円)	割合 (%)	前年同四半期比 (%)
キャノン株式会社	910,537	21.1	—
東レエン지니어リング株式会社	650,591	15.1	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比を記載しておりません。